弊社製　油入しゃ断器及び油入開閉器のＰＣＢ含有について

１９８９年まで製造を販売しておりました油入しゃ断器及び油入開閉器は，当時の商習慣に従い弊社では絶縁油を注入せず出荷しておりました。

従いまして，当該品の絶縁油の性状に関しましては，弊社では判断できません。

弊社が取扱説明書等にて JIS C 2320 に規定される 2 号絶縁油相当を使用していただくように記載しておりましたので、当社指定の２号絶縁油を調達し，注油されていたものと推定されます。

ＰＣＢ関連の詳細につきましては，環境省や日本電機工業会（ＪＥＭＡ）のホームページをご参照いただきたくお願い申し上げます。（分析機関も紹介されております。）

環境省ホームページ　：http://www.env.go.jp/recycle/poly

ＪＥＭＡホームページ：http://www.jema-net.or.jp

分析機関の紹介　　：http://www.jema-net.or.jp/Japanese/jyuden/p_6-2.htm

下表に，弊社が 1989 年まで製造販売しておりました油入しゃ断器及び油入開閉器の一覧です。
ご参考としてください。

名　称		形式	油量（Ｌ）	定　格
高圧油入開閉器		ＯＤＳ－ＨＳ$_2$	１７．０	７．２ｋＶ　１００Ａ
		ＯＤＳ－６	２３．０	７．２ｋＶ　１００～４００Ａ
		ＯＤ	２３．０	７．２ｋＶ　１００～４００Ａ
高圧油入開閉器（地絡保護付）		ＯＳＧ－ＨＳ$_2$	１８．０	７．２ｋＶ　１００Ａ
高圧油入開閉器（電磁操作式）		ＯＳ－Ｍ	２４．０	７．２ｋＶ　１００～２００Ａ
		ＯＧ－Ｍ		
コンデンサ用高圧油入自動開閉器		ＯＤ－ＴＭ	３２．０	７．２ｋＶ　２００Ａ
		ＯＤ－ＳＭＣ		
柱上油しゃ断器	地絡及び過負荷保護形	ＯＥ－５３	２６．０	７．２ｋＶ　１００～２００Ａ
		ＯＥ－１０４		
		ＯＥ－１０$_3$	１７．５	
		ＯＥ－２	４６．０	
		ＯＥ－５	６９．０	
	過負荷保護形	ＯＴ－５３	２６．０	
		ＯＴ－１０４		
		ＯＴ－１０$_3$	１７．５	
		ＯＴ－２	４６．０	
		ＯＴ－５	６９．０	
	地絡保護形	ＯＧ－５３	２６．０	
		ＯＧ－１０４		
		ＯＧ－１０$_3$	１７．５	
		ＯＧ－２	４６．０	
		ＯＧ－５	６９．０	
過電流ロック機構付		ＯＧ－１	２４．０	７．２ｋＶ　１００～２００Ａ
高圧油入開閉器（地絡保護形）		ＯＧ$_3$	１８．０	７．２ｋＶ　１００Ａ

弊社製　油入しゃ断器及び油入開閉器からの絶縁油の採取方法

弊社製 油入しゃ断器及び油入開閉器から絶縁油を採取する場合は，下記の手順で行ってください。

1．製品が腕金（腕木）に取り付けたままの場合は，油タンクの下にリフターやジャッキ等を用いて支えておく。(降柱してあり，地上や台の上に置いてある場合は，油タンクを支える必要はありません。)
2．製品の本体と油タンクを締付けている四本のボルト及びナットを緩める。
3．四本の締付けの内，短いボルト二本は取り外す。
4．四本の締付けの内，長いボルト二本の上部のねじからナットが脱落するまで緩める。
5．リフターやジャッキ等をゆっくりと下降させる。(降柱してあり，地上や台の上に置いてある場合は，ゆっくりと本体を持ち上げる。)
6．抜き取り用のスポイト等で，分析に必要な油量を採取する。
7．元の状態に戻す。

本図は，代表してＯＤＳ－ＨＳ$_2$形を示したものですが，他の機種に於いても，油タンクの締付け方式は同様です。